


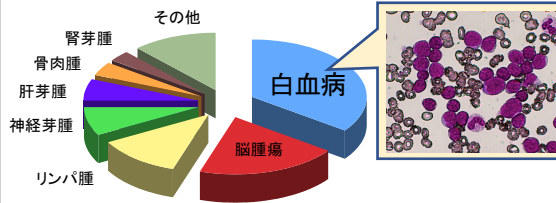
2019年  
ライフサイエンスコース

**難治性の白血病に挑む**



小児科学講座

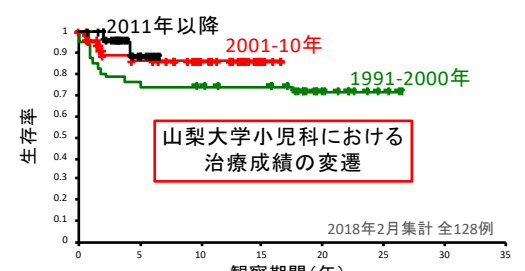
白血病は最も多い小児がんです



山梨県下における小児悪性新生物の発症状況に関する疫学調査から

小児がんの中で、白血病は最も多い疾患です。子ども達が「元気に遊び学ぶ」本来の生活を取り戻せるように、小児科学教室では白血病の治療を行うだけでなく、研究を進めています。

多くの子ども達が病気を克服し社会復帰しています



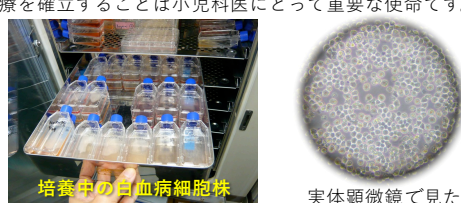
山梨大学小児科における治療成績の変遷

2018年2月集計 全128例

小児科領域では、白血病の治療成績は大きく改善して、80%以上の子ども達が病気を克服して元気に生活しています。

白血病の新しい治療法の開発を目指します

一方で、20%程度の子ども達は再発するため、新しい有効な治療を確立することは小児科医にとって重要な使命です。




培養中の白血病細胞株

実体顕微鏡で見た生きた白血病細胞


私たちは、世界で最も多くの種類の白血病細胞株を樹立・収集して、難治性白血病の研究を進めています。

2名の学生が在籍し研究しています

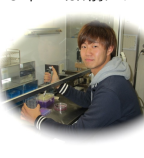
2年 木月くん  
AI（人工知能）を白血病の診断・治療に応用する研究に取り組んでいます。



二人とも京都で行われた昨年の日本小児血液がん学会で、研究成果を発表しました。




6年 加藤くん  
白血病の抗がん剤に対する耐性のメカニズムをテーマに実験に取り組んでいます。



卒業生が活躍しています


在籍中の成果が英文論文に



小児科の専門医に！

厚生省で活躍中！

他に基礎医学講座のコース修了者2名が、小児科医として在籍して研究を進めています（うち1名はアメリカ留学中）。



子ども達の明日の笑顔のために、あなたの熱意を白血病の研究に注いでみませんか。